

医療法人財団博仁会共済病院

病院

さいたま市緑区の地域医療を支える病院。救急医療を担い、内科・外科・整形外科・婦人科など多診療科を有する。高精度の診断機器を導入し、自治医科大学さいたま医療センターと強い連携を持つ。

補助事業名

さいたま市DX推進補助金

実施時期

令和5年度

申請テーマ

給与明細システム導入によるペーパーレス&効率化

高齢化社会に対応する地域医療機関の挑戦と業務効率化への取り組み

さいたま市緑区の救急医療を担う同病院は、本格的な高齢化社会を迎え、地域医療に欠かせない存在となっている。診断・治療のみならず、地域の人々の健康維持管理から在宅医療まで幅広い医療サービスを提供。地域密着型病院として専門的医療、救急医療、高齢者医療に加え、保健・福祉サービスとの連携を深めたトータルケアを目指すという特徴を持つ。内科、外科、整形外科、婦人科、麻酔科等の診療科目を備え、地域住民の健康を総合的に支えているのだ。

自治医科大学さいたま医療センターとの病診連携が強固であることも特筆すべき点である。一方で、小規模病院であるが故の医師やメディカルスタッフなど人的資源を含めた経営資源の確保が困難な状況に直面していた。

特に給与関連業務では、多数の給与明細と封筒を経理担当者が手作業で封入し配布する作業に多大な労力を費やしていた状況だった。源泉徴収票についても同様の手間が発生。紙媒体による管理は、紛失リスクや再発行の手間という課題も内包していたのである。こうした状況を打開するため、同社は給与明細と年末調整申告機能を持つクラウドシステムの導入を検討。

このシステム導入により、業務効率化と職員の利便性向上が期待された。経営資源の制約がある中、効率的かつ効果的なIT投資を実現するため、DX推進補助金の活用を決断した。

クラウドシステム導入がもたらした業務変革と将来展望

課題解決のため、同社はMJS給与明細率照システム「Edge Tracker」を導入した。このシステムは病院での使用に適した給与明細参照と年末調整申告機能を備えた統合フロントクラウドサービスである。クラウドベースのため特別な設備投資は不要。PCやスマートフォンからアクセス可能な環境を実現した。従業員はいつでもどこでも給与明細を閲覧でき、PDF形式での出力も可能となった。年末調整に関する申告もオンラインで効率的に処理できるようになった。セキュリティ面では、医療機関向けに適したセキュリティ対策が施されている。



導入後、同社の給与関連業務は劇的に変化した。紙媒体から電子データへの移行によって、印刷・封入作業が不要となり、事務作業の効率化が実現。消耗品コスト削減に加え、作業に費やしていた人件費も大幅に削減された。職員側にも明確なメリットが生じた。給与明細や源泉徴収票をいつでもどこでも確認できるようになり、紙の紛失リスクが解消。自宅での紙管理も不要となった。

バックオフィス業務では、帳票のファイリング作業が減少し、PC内でのデータ管理が可能となった。過去データの検索も容易になり、業務効率の向上に大きく貢献している。マンパワー確保が難しくなる中、このようなIT化・デジタル化は同社にとって不可欠な戦略となっている。

同社は今後も超高齢化社会に向けて、訪問診療や訪問看護ステーションを通じて地域医療に貢献していく方針だ。

Company Data

- ・ 理事長：本松 茂
- ・ 院長：星野 徹
- ・ 所在地：埼玉県さいたま市緑区
- ・ 従業員数：245名
- ・ 設立年月日：昭和36年11月（1961年11月）
- ・ URL：<https://www.kyosai-hosp.or.jp/>

